

5/31までの学習について《1年生》

休校中の学習範囲のまとめです。学習記録表を活用するなどして、しっかりと取り組んでください。

提出の指示があるものは、指定された日に提出をしてください。指示がなければ、提出の必要はありません。課題や別紙で掲載している確認テストやプリント資料は、特別指示がなければ、ダウンロード・プリントアウトしたものにやっても、ノート（ルーズリーフ）にやっても、直接問題集などに書き込んでもかまいません。

国 語	別資料参照
地理歴史	別資料参照
数 学	<p>数学 I</p> <p>教科書 p.17 9行目～の説明を読む、または以下の参考動画を視聴し、 p.18 の例題5・練習23、p.20 応用例題4・練習27 をノートまたはルーズリーフなどに解く。 練習問題については、解答（別紙）で答え合わせをして、休校明けの最初の数学 I の授業で提出すること。 参考動画：NHK 高校講座 数学 I のチャプター9. 別紙にてリンクを貼ってあります。</p> <p>数学 A</p> <p>数学 A 教科書 p.5～10 を参考に、3TRIAL 数学 I p.86・87 の1～10 を解答し答え合わせをして、数学 A の最初の授業で提出すること。 この範囲の授業動画、プリント、確認テストを5/11～順次アップする予定です。学習の参考として活用して下さい。 ※学習の助けになる数学動画（NHK高校数学講座など）のリンクを、別紙で紹介しておきます。 ※ 前回の課題（4/20～5/10）、および、前々回の課題（入門ノートの復習）も忘れずに。</p>
理 科	<p>生物基礎：①後日HPにアップされる別紙プリントに取り組むこと。</p> <p>物理基礎：①教科書P16、17（相対速度）をよく読み、学習を進めること。 なお、上記の範囲の補足解説プリントをHPに掲載するので参考してください ②リピートノート物理βのP2～5②等速直線運動、③速度の合成、相対速度を解く（直接書き込むこと） ※リピートノートは上記の範囲を解き、丸付けをし、初回授業で提出！</p>
英 語	別資料参照
体 育	運動不足解消のためにSNSやテレビ番組などで紹介されている運動やトレーニングなどを見るだけでなく実践すること。

【 1年生 国語 】

期間：5/11～5/31

	内容（課題）	提出・確認テストの有無
国 総 イ ・ 現 代 文	<p>教科書「国語総合」中の小説「指」(P36～45)を 読み, 以下の課題に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ページ下段, 左端の「*」語句の意味を調べる ・P44「学習の手引き」の【理解】に解答する 	<p>ノートやルーズリーフに 書き込み, 学校再開後に 提出する</p>
国 総 ロ ・ 古 典	<p>ホームページ上の〈1年生専用ページ〉・〈各教科より〉・ 【国語】にある ホームページ上の「1年用入門・用言」のファ イルを参考にして, 問題集「体系 古典文法 準拠ノート」 のP8～11・P14～17に取り組む</p> <p>※上記の課題については答え合わせをし, 理解するまで何度も 取り組むこと</p>	<p>直接, 問題集に書き込み, 学校再開後に提出する</p> <p>※答え合わせ, やり直しを 必ずすること</p>

5月10日以前の課題は、「4/20～5/10の1年生の課題」のページで確認してください。

社会科休校中の課題（5月31日まで）

※注意：学校再開後に提出する必要があるものや確認テストを行うものもありますので、必ず各自確認をしてください。
再開後スムーズに授業に取り組めるように、課題に取り組んでください。

- 1、ホームページ上にアップされているすべての確認テストに必ず全員取り組むこと。
 - 2、確認テストの点数は成績には含みません。
 - 3、何回チャレンジしても構いません。
- ※ 家庭の都合で取り組めない人がいる場合は、学校まで必ず連絡（電話やメール）をしてください。

学年	科目	範囲	学校再開後の扱い
1 年 生	現代社会	問題集『ステップアップ現代社会』P28—P33 （「日本国憲法の制定」のみ） （※教科書 P86—P105、資料集 P68—P82 参 照）の理解をすすめ、やり遂げること。	<input checked="" type="checkbox"/> 問題集は学校再開後に、現代社 会の授業で提出してください。 ※問題集へ書き込みをしてもよい し、ノートやルーズリーフへ書い てもよい。 <input checked="" type="checkbox"/> 学校再開後に折を見て確認テ ストを行います。 <input checked="" type="checkbox"/> この課題に取り組んだうえで 授業を進めていきます。
		<課題範囲の理解を深めるために、以下の学習 ツールを活用してください> ・問題集の範囲の解説動画を HP 上にアップ します。学習の補助として使ってください。 ・上記の問題集の確認テストを HP 上にアッ プします。URL をクリックして問題ページに 進み、解答を送信してください。その場で正 解や解説を見ることができます。	

新1年

英語科より 休校中の課題

【学校再開後実施のテスト】

- 英語基礎学力テスト
→学校再開後に行います。合格者説明会で配布された『英語の基礎学力定着テキスト』にしっかり取り組んでおくこと。
- スタディーサポート
→学校再開後に行います。科目は国語・数学・英語です。合格者説明会で配布された『スタディーサポート活用 BOOK』にしっかり取り組んでおくこと。

【提出課題】 **新しい提出課題があります。よく読んで提出漏れの無いようにすること。**

- ① 『NICE START 高校英語』（合格者説明会で配付・指示済み）
→**学校再開後最初のコミュニケーション英語Ⅰの授業で提出**（成績に入ります）
再度解答したり、間違えた問題を繰り返し解いたりして、高校での学習に備えよう。
- ② 『スタディーサポート活用 BOOK』（合格者説明会で配付・指示済み）
→**スタディーサポート実施日に担任へ提出**
まだ解いていない問題や、読んでいないページに取り組みましょう。
- ③ 『FACTBOOK English Grammar Standard（黄緑色のワークブック）』の **pp.6-23**
→ノートまたはルーズリーフに答えを解き、**学校再開後最初の英語表現Ⅰの授業で提出**。
（既にワークブックに直接解いてしまった人は、もう一度ノートなどに解いて提出しよう）
- ④ 『Vision Quest English ExpressionⅠ』の **pp.6~7, 10~13, 18~21, 24~27**
→ノートまたはルーズリーフに答えを解き、**学校再開後最初の英語表現Ⅰの授業で提出**。
（既に教科書に直接解いてしまった人は、もう一度ノートなどに解いて提出しよう）
- ⑤ 『NEW FLAG ENGLISH COMMUNICATIONⅠ』の **Chapter1(pp.11~17)、Chapter3(pp.31~39)**
→ノートまたはルーズリーフに授業の予習として取り組む。詳しいやり方は下記を確認。
学校再開後最初のコミュニケーション英語Ⅰの授業で提出。

【みんなで週の総まとめチャレンジ！】

- ターゲット1400実力問題（1～150）**※全員必ず実施**
1年生みんなで週の総まとめに取り組もう。各週50単語を範囲にして問題を配信します。

手順

毎週木曜日にHPの英語科の課題ページに問題がアップされます。

解答期間はその週の木曜日の8:45～金曜日の17:00までです。

実力問題の範囲・・・**14日：1～50、21日：51～100、28日：101～150**

- 今まで課題で覚えてきた範囲の単語がしっかり身についているか確認しましょう。
- また、「一週間の学びの総まとめをする」という習慣づけのために実施します。取り組み度は教員が確認するので、必ず行ってください。

【休業中に取り組んでいきたいこと】 自身の学習スタイルの確立への第1歩

以下の表を参考に、定期的に学習に励んでいきましょう。 部分は新しく設定したものです。

科目	使用教材	学習方法
中学校の復習	英語の基礎学力定着テキスト	学校再開後、確認テストがあります。英語の最低限の基礎を今のうちに確実に身につけておきましょう。
英表 I	総合英語 FACTBOOK（青色の参考書） FACTBOOK English Grammar Standard（黄緑色のワークブック）	<u>Introduction</u> 、 <u>Chapter1</u> 、 <u>Chapter2</u> を読み、理解する。 その後、FACTBOOK English Grammar Standard（黄緑色のワークブック）の pp.6-23 に取り組む。 HP で随時学習補助プリントと動画をアップします。プリントは印刷したり、ノートに写したりして活用してください。
	Vision Quest English Expression I（オレンジの教科書）	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 pp.6~7, 10~13, <u>18~21, 24~27</u> の問題を解く。各見開きページの左側が文法の解説になっているので参考にしながら解いてみましょう。 pp.5, 9, <u>17, 23</u> の Model Conversation と Function の文を音読する。 発音が分からない単語は辞書などで調べ、繰り返し読んでみよう。
コミュ I	ターゲット 1400	単語番号 <u>1~240</u> (pp.18-78) を覚える。 一週間に 30 語のペースで覚えるとよい。 授業開始後、毎週単語テストを行うので少しでも多くの単語を覚えよう。 HP に練習問題がアップされています。暗記前、暗記中、暗記後に活用してください。同じ問題を何度も解くのも OK！（音声ファイルをダウンロードできます。詳しくはターゲット 1400 の p.13 を見てください。） 覚えるコツ 「書く」・「声に出す」を繰り返す。
	NEW FLAG ENGLISH COMMUNICATION I（教科書）	<u>Chapter1</u> (pp.11~17)、 <u>Chapter3</u> (pp.31~39) に取り組む。 →ノートやルーズリーフなどを用意して、授業の予習に取り組みましょう。 取り組み方 ① 各 Part の本文を音読する。 ② ノートの見開きページの左側に本文、右側に本文の和訳を書く。(左右逆でもよい。) ③ 教科書本文の左にある新出単語の意味調べも行い、本文・和訳の下や次のページに書く。 ④ ①~③まで取り組んだ後、教科書の奇数ページにある問題をノートに解く。 →音読や英文を書くことは英語学習においては必須。毎日 10 分程度声に出して読んで英文を読む力を鍛えよう。教科書だけでなくターゲットや文法学習の時にも音読する癖をつけておこう。

		→辞書や文法の参考書で調べながらやるのも英語学習に効果的です。
自主 学習 の すすめ	英検	高校生の間に2級レベルまで到達することが目標。これまで敬遠していた人もこの機会に挑戦してみてもどうでしょうか。(直近の公開試験が開催されるかどうかは英検のホームページなどで発表されます。どちらにしても学習しておいて損はありません。)
	2行日記	英語で日記をつけてみよう。復習した文法事項やターゲットで学習した単語を実際を使って英語を使いこなす力の定着を図ろう。 →日記用のプリントは英語科の課題ページにあるので、ダウンロードするか、ノートやルーズリーフに書きましょう。

【最後に】

- ① 毎日学習する習慣は、英単語学習でつけるのが効果的
- ② 英語は毎日学習しないと、現状維持で精一杯
- ③ ゴールを決めてモチベーションを上げよう

質問、疑問があれば電話やメールで問い合わせてください

(1年生担当 押見)